

日豪EPAによる影響について

直近の1年間（令和元年度）の牛肉需給動向を発効前3年間（24～26年度）の動向と比較すると、以下の通り。

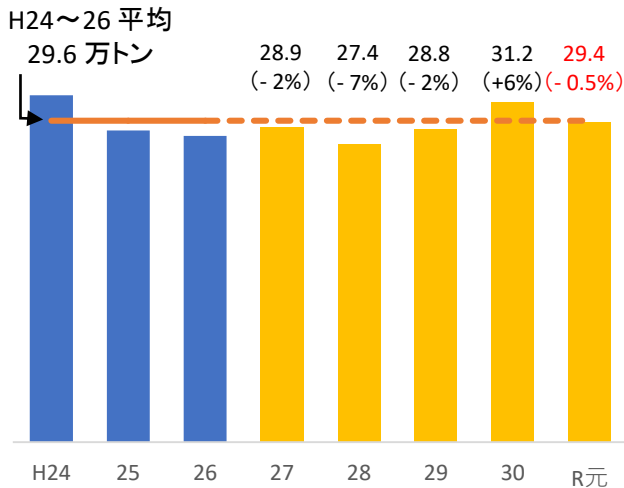
- ① 牛肉輸入量は、豪州産は0.5%減少し、全体は18%増加
- ② 牛肉の輸入単価（CIF）は、豪州産は31%上昇、輸入全体は24%上昇
- ③ 国産牛肉の卸売価格は37～50%上昇

日豪EPAにおける関税率

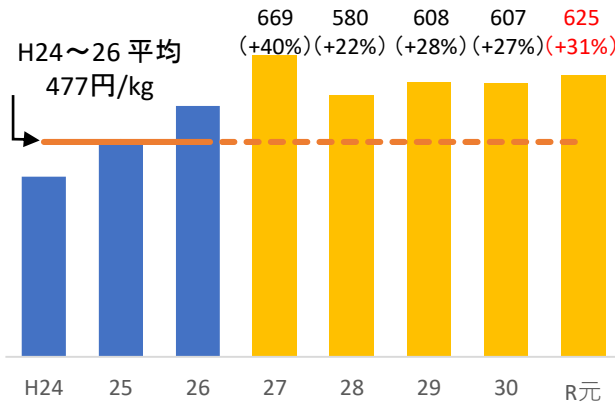
	1年目 (27年1月15日～)	2年目 (27年度)	3年目 (28年度)	4年目 (29年度)	5年目 (30年度)	6年目 (令和元年度)
冷蔵牛肉	32.5%	31.5%	30.5%	29.9%	29.3%	28.8%
冷凍牛肉	30.5%	28.5%	27.5%	27.2%	26.9%	26.7%

○直近1年間（令和元年度）と平成24～26年次の比較

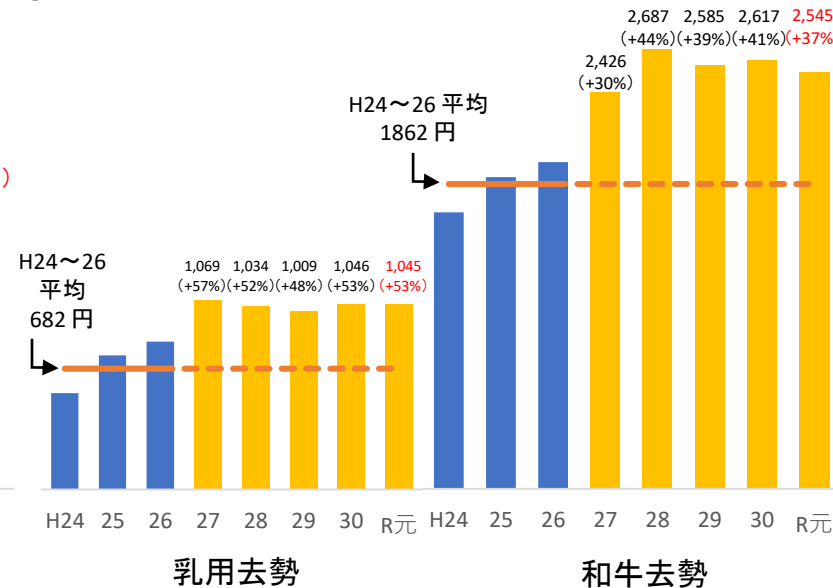
①豪州産牛肉輸入量



②豪州産牛肉輸入単価※



③国産牛肉卸売価格



〔参考：輸入全体〕

H24～26 平均	H27	H28	H29	H30	R元
52.3 万トン	49.5	50.4	57.3	60.8	61.6
	(-5%)	(-4%)	(+10%)	(+16%)	(+18%)

〔参考：輸入全体〕

H24～26 平均	H27	H28	H29	H30	R元
507 円/kg	686	578	613	633	627
	(+35%)	(+14%)	(+21%)	(+25%)	(+24%)

〔参考：交雑去勢〕

H24～26 平均	H27	H28	H29	H30	R元
1,167 円/kg	1,617	1,654	1,469	1,520	1,625
	(+39%)	(+42%)	(+26%)	(+30%)	(+39%)

※輸入単価は、関税課税前の価格であるため、平成28年の対前年下落は、関税削減ではなく、為替等の影響による。

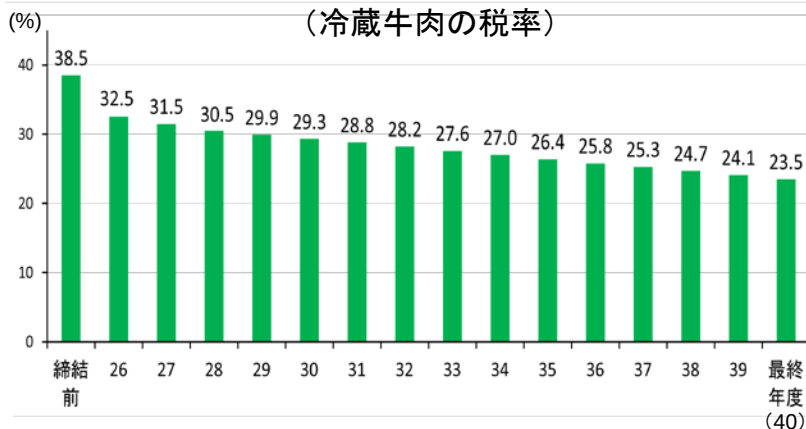
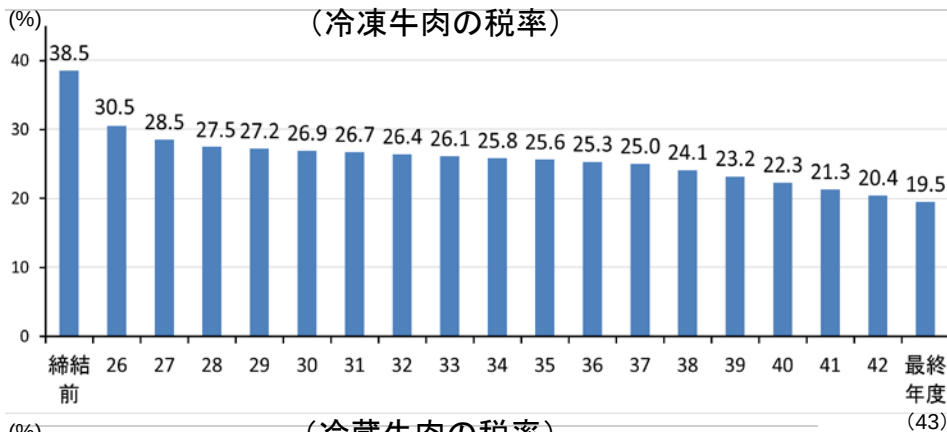
（参考）豪州ドル 平成27年：92.39 円/\$ 平成28年：83.17 円/\$ 平成29年：88.20円/\$ 平成30年：83.95円/\$ 令和元年：77.95円/\$

豪側の要求： 現行税率(38.5%)の撤廃ないし大幅な削減

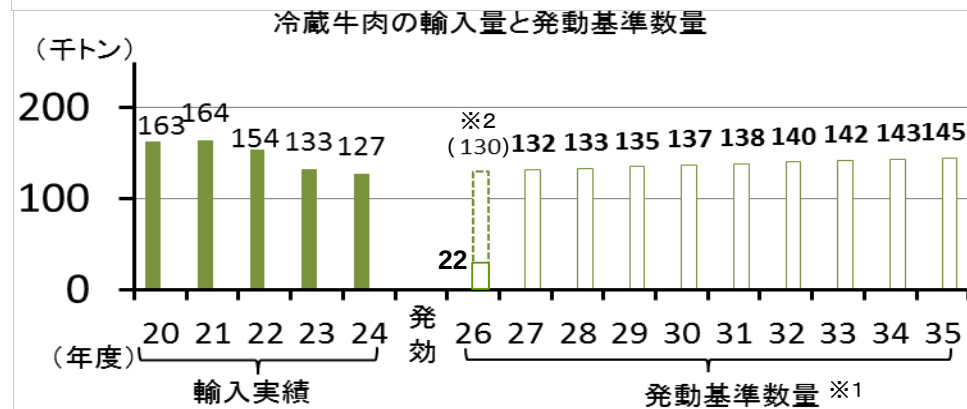
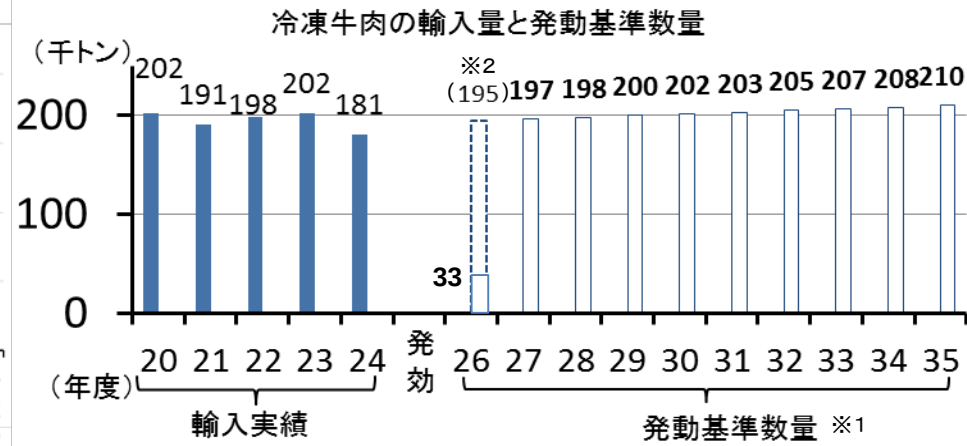
合意内容： 段階的関税削減 (冷凍)18年目に19.5%まで削減(約5割削減)
(冷蔵)15年目に23.5%まで削減(約4割削減)

※ 豪州からの輸入量が発動基準数量を超えた場合に税率を38.5%に戻す数量セーフガードを導入。

関税率は長期間かけて段階的に削減



低税率の適用は、近年の輸入量程度が上限



※1 発動基準数量については、100トン単位で四捨五入して表示している。

※2 日オーストラリア経済連携協定の発効が平成26年度途中の平成27年1月15日となることから、平成26年度の牛肉の特別セーフガードについても年度途中の同年月日の開始となるため、発動基準数量は、同協定附属書に基づき、残余の完全な月数で按分され、(同協定附属書で決められた発動基準数量)÷12ヶ月×2ヶ月(端数は四捨五入)となる。